

平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月1日

上場取引所 東

上場会社名 エムケー精工株式会社
 コード番号 5906 URL <http://www.mkseiko.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月4日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 丸山 将一
 (氏名) 小林 文彦

TEL 026-272-0601

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年3月21日～平成26年6月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	4,214	3.1	320	8.9	319	20.3	183	43.4
26年3月期第1四半期	4,087	5.7	294	24.1	265	18.5	127	△34.9

(注)包括利益 27年3月期第1四半期 208百万円 (10.1%) 26年3月期第1四半期 189百万円 (29.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	12.63	—
26年3月期第1四半期	8.81	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭		
27年3月期第1四半期	19,880	44.1	8,760	44.1	604.12	604.12		
26年3月期	19,753	43.9	8,667	43.9	597.73	597.73		

(参考)自己資本 27年3月期第1四半期 8,760百万円 26年3月期 8,667百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	8.00	8.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	0.00	—	8.00	8.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年3月21日～平成27年3月20日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	9,000	0.1	450	△12.1	420	△13.6	210	△12.0	14.48
通期	19,000	△2.3	820	△12.2	730	△16.2	430	△15.1	29.65

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期1Q	15,595,050 株	26年3月期	15,595,050 株
27年3月期1Q	1,093,762 株	26年3月期	1,093,718 株
27年3月期1Q	14,501,317 株	26年3月期1Q	14,501,771 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税引上げによる影響が懸念されたものの、駆け込み需要に伴う反動も限定的で、緩やかな回復基調に戻りつつあるものと期待されます。

当社グループが関連する業界におきましては、オート機器の分野では底堅い需要に支えられ堅調に推移いたしました。情報機器及び生活機器の分野では一段と競争が激化した厳しい状況が続いております。

こうした状況にあつて当社グループは、収益モデルの再構築を目指して、人材育成と営業部門強化に向けたプロジェクトに着手し、また、更なる生産性の強化とコスト削減を目指して、設備・人員の再配置、在庫削減及びV A (価値分析) を推し進めております。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は42億1千4百万円(前年同期比3.1%増)、営業利益は3億2千万円(前年同期比8.9%増)、経常利益は3億1千9百万円(前年同期比20.3%増)、四半期純利益は1億8千3百万円(前年同期比43.4%増)となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

(オート機器事業)

主要製品の門型洗車機は、S S業界の大手顧客やカーディーラー及び整備工場におきまして、買い替え需要が好調を維持し、また、オイル関連製品では、政府の補助金制度による後押しもありローリーの販売が堅調に推移いたしました。この結果、売上高は前年同期比3.3%増の28億7百万円となりました。

(情報機器事業)

一般店舗向け小型表示機及びアミューズメント業界向けフルカラー表示機については、新製品の市場導入により積極的な拡販に努めたものの、海外製品との厳しい価格競争が続き苦戦いたしました。また、官需関連の道路情報板は、第2四半期へ一部納入ずれ込みが生じたこともあり、売上高は前年同期比16.7%減の4億5千8百万円となりました。

(生活機器事業)

調理家電を含めた一般家庭向け商材及び農家向け商材共に、消費税増税前の駆け込み需要が見られたものの、その後の反動と消費者の低価格志向による価格競争から厳しい状況が続きました。しかし、保冷米びつの新規OEM供給の開始や農産物低温貯蔵庫における販売促進企画が奏功し、売上高は前年同期比6.4%増の5億9千5百万円となりました。

(住設機器事業)

子会社の株式会社ニューストが行う事業で、主として木・アルミ複合断熱建具、反射板式消音装置等の製造・販売を行っております。主要取引先である建設業界は、建設資材の高騰や職人不足により公共工事の入札不調・不落が続くなど、当社にとっても厳しい状況にあります。しかし、前年度に積み上がった受注残が当第1四半期売上に寄与できましたことから、売上高は前年同期比42.1%増の3億4百万円となりました。

(その他の事業)

その他の事業は、長野市内で展開しております「長野リンデンプラザホテル」の運営事業及び保険代理業、不動産管理・賃貸業であります。ホテル業は、長野市内での競争が激化し厳しい状況が続いておりますが、ビジネス・観光共に需要は回復基調で推移し、売上高は前年同期比6.7%増の4千8百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ1億2千7百万円増加し198億8千万円となりました。流動資産は1億7千2百万円増の106億5千3百万円、固定資産は4千7百万円減の92億2千4百万円となりました。これは主に事業の閑繁等の季節的要因に伴い、受取手形及び売掛金が4億2千8百万円減少したこととたな卸資産が8億5千4百万円増加したことによるものです。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債の合計は、前連結会計年度末に比べ3千4百万円増加し111億2千万円となりました。流動負債は4億3千4百万円増の82億1千8百万円、固定負債は4億円減の29億1百万円となりました。これは主に短期借入金及び1年内返済予定の長期借入金が7億2千1百万円増加したことと長期借入金が5億2千7百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度に比べ9千2百万円増加し、87億6千万円となりました。これは主に四半期純利益1億8千3百万円を計上したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績につきましては概ね計画どおりに推移しております。よって、現時点では平成26年5月1日付「平成26年3月期決算短信」で公表しました業績予想から変更はございません。

今後、業績予想数値に修正が生じる場合は、速やかに公表いたします。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月20日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,706,257	1,529,483
受取手形及び売掛金	4,190,711	3,762,063
商品及び製品	1,209,553	1,637,064
仕掛品	1,219,865	1,355,729
原材料及び貯蔵品	1,863,542	2,154,188
その他	329,636	250,433
貸倒引当金	△37,848	△35,069
流動資産合計	10,481,718	10,653,893
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,728,681	2,673,380
機械装置及び運搬具(純額)	249,656	226,396
土地	2,981,164	2,981,164
その他(純額)	137,262	165,492
有形固定資産合計	6,096,765	6,046,433
無形固定資産		
のれん	948,178	920,961
その他	505,694	516,311
無形固定資産合計	1,453,872	1,437,272
投資その他の資産	1,721,548	1,740,654
固定資産合計	9,272,186	9,224,360
繰延資産	—	2,736
資産合計	19,753,904	19,880,990

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月20日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月20日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	988,074	1,202,535
短期借入金	2,210,000	1,840,000
1年内返済予定の長期借入金	842,396	1,933,893
未払金	2,828,174	2,879,905
未払法人税等	313,349	40,115
引当金	339,147	131,127
その他	263,112	191,197
流動負債合計	7,784,254	8,218,774
固定負債		
社債	—	100,000
長期借入金	2,820,518	2,293,222
退職給付引当金	238,689	226,967
その他	242,623	281,480
固定負債合計	3,301,831	2,901,669
負債合計	11,086,085	11,120,443
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,373,552	3,373,552
資本剰余金	2,951,143	2,951,143
利益剰余金	2,810,575	2,877,719
自己株式	△510,386	△510,402
株主資本合計	8,624,884	8,692,013
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	78,408	139,360
繰延ヘッジ損益	3,036	△397
為替換算調整勘定	△38,510	△70,429
その他の包括利益累計額合計	42,934	68,533
純資産合計	8,667,819	8,760,546
負債純資産合計	19,753,904	19,880,990

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年3月21日 至平成25年6月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年3月21日 至平成26年6月20日)
売上高	4,087,533	4,214,343
売上原価	2,646,700	2,685,540
売上総利益	1,440,833	1,528,803
販売費及び一般管理費	1,146,763	1,208,418
営業利益	294,069	320,384
営業外収益	21,611	23,874
営業外費用		
支払利息	24,137	19,828
その他	25,954	4,923
営業外費用合計	50,092	24,752
経常利益	265,588	319,506
特別利益		
固定資産売却益	59	29
投資有価証券売却益	—	4,044
特別利益合計	59	4,074
特別損失		
固定資産除却損	1,976	30
投資有価証券評価損	—	39
特別損失合計	1,976	70
税金等調整前四半期純利益	263,671	323,509
法人税、住民税及び事業税	27,733	35,187
法人税等調整額	108,246	105,167
法人税等合計	135,979	140,355
少数株主損益調整前四半期純利益	127,691	183,154
四半期純利益	127,691	183,154

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年3月21日 至平成25年6月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年3月21日 至平成26年6月20日)
少数株主損益調整前四半期純利益	127,691	183,154
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△29,169	60,951
繰延ヘッジ損益	△10,842	△3,434
為替換算調整勘定	101,910	△31,918
その他の包括利益合計	61,898	25,598
四半期包括利益	189,590	208,753
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	189,590	208,753

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年3月21日 至 平成25年6月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	オート機器 事業	情報機器事業	生活機器事業	住設機器事業	その他の事業	計		
売上高								
外部顧客への売上高	2,717,164	551,068	559,361	214,049	45,889	4,087,533	—	4,087,533
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,173	8,662	79,954	11	35,202	127,003	△127,003	—
計	2,720,338	559,729	639,315	214,061	81,092	4,214,537	△127,003	4,087,533
セグメント利益又は 損失(△)	513,789	△6,258	16,346	△58,223	20,334	485,987	△191,917	294,069

(注)1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△191,917千円には、セグメント間取引消去6,512千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△198,429千円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属していない四半期連結財務諸表提出会社の費用です。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年3月21日 至 平成26年6月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	オート機器 事業	情報機器事業	生活機器事業	住設機器事業	その他の事業	計		
売上高								
外部顧客への売上高	2,807,106	458,934	595,086	304,237	48,978	4,214,343	—	4,214,343
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,032	13,740	87,219	124	34,568	137,686	△137,686	—
計	2,809,138	472,675	682,306	304,362	83,547	4,352,029	△137,686	4,214,343
セグメント利益又は 損失(△)	538,954	△22,398	17,935	△32,990	18,927	520,429	△200,044	320,384

(注)1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△200,044千円には、セグメント間取引消去6,511千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△206,555千円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属していない四半期連結財務諸表提出会社の費用です。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。